

豊明市

“チームオレンジちやっど”

の紹介

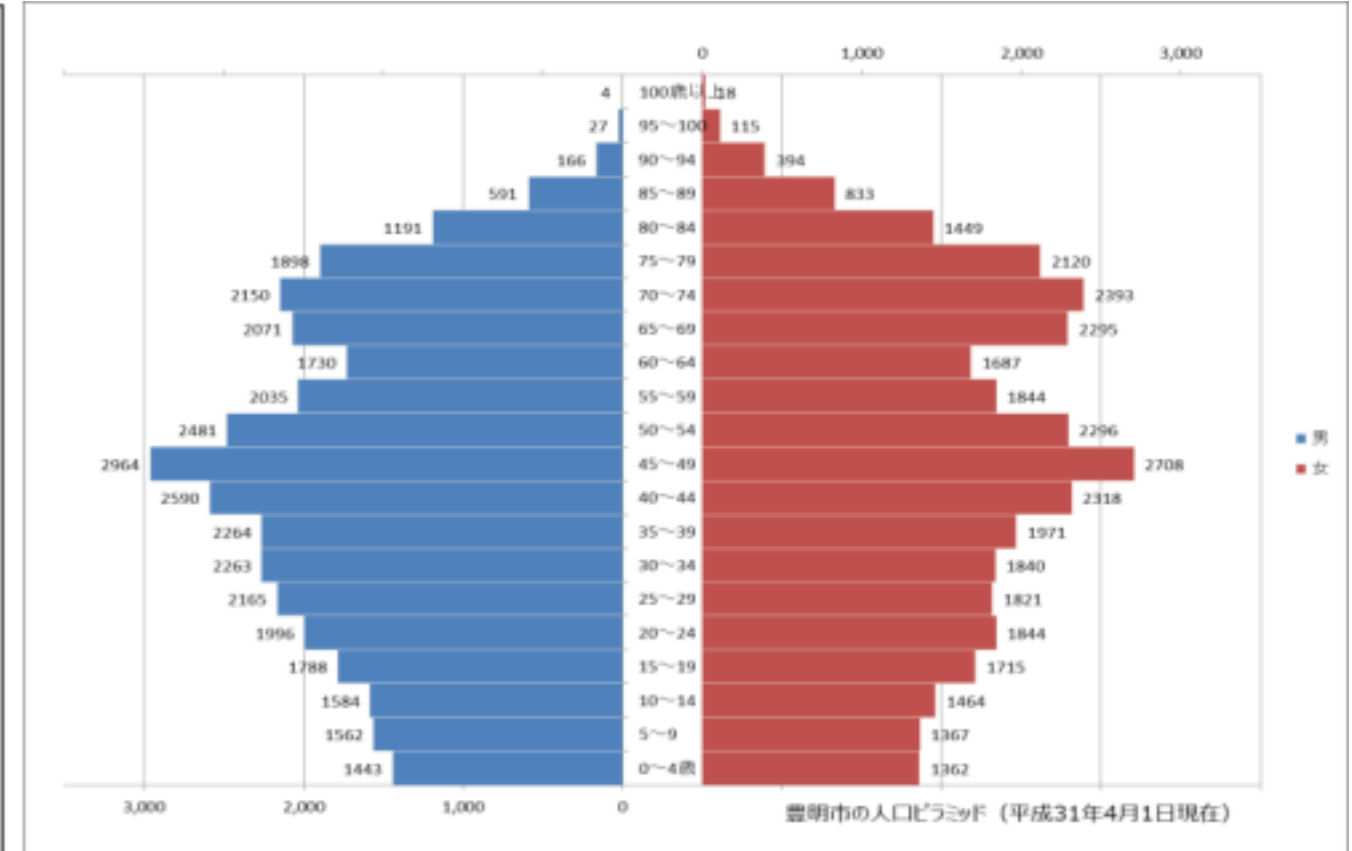
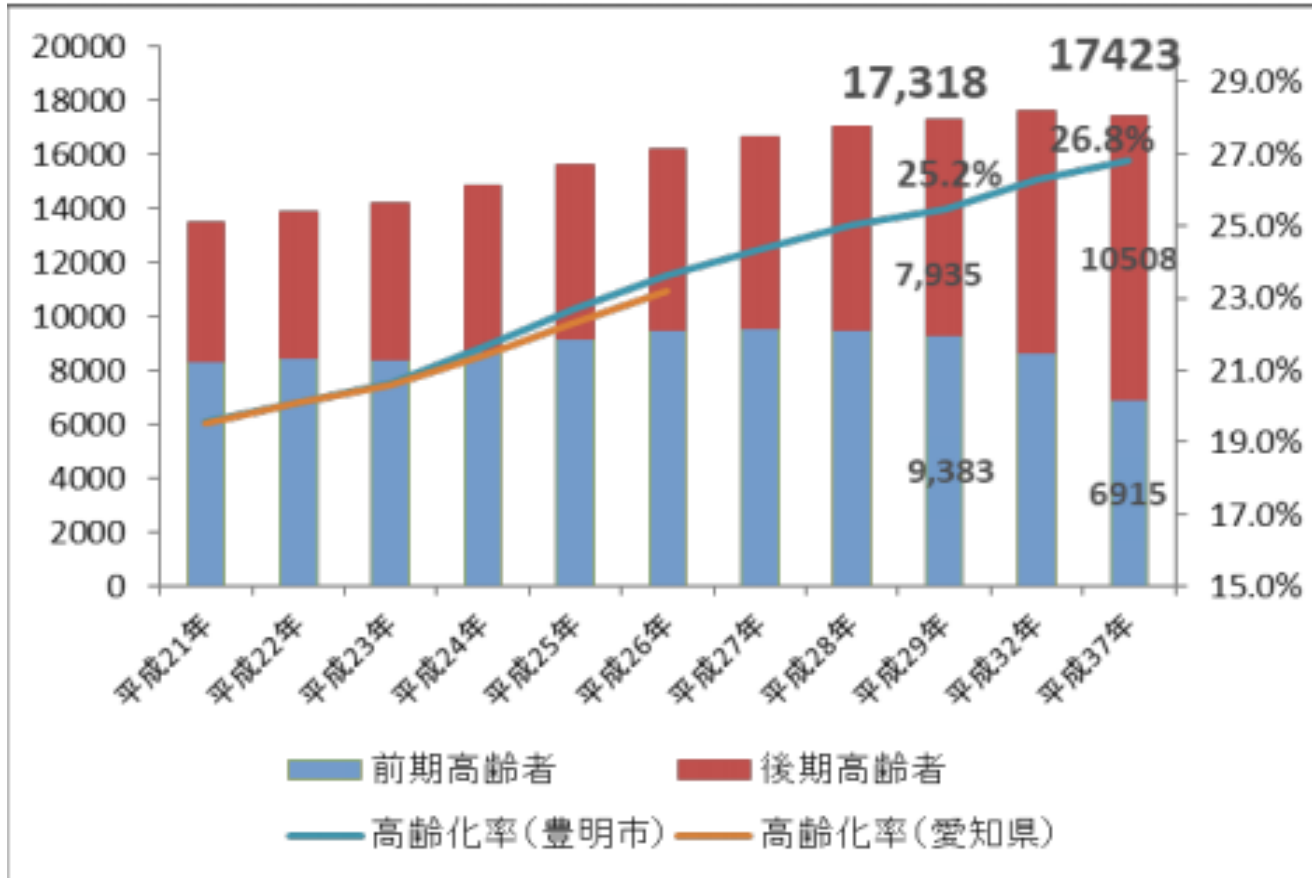


豊明市中部地域包括支援センター

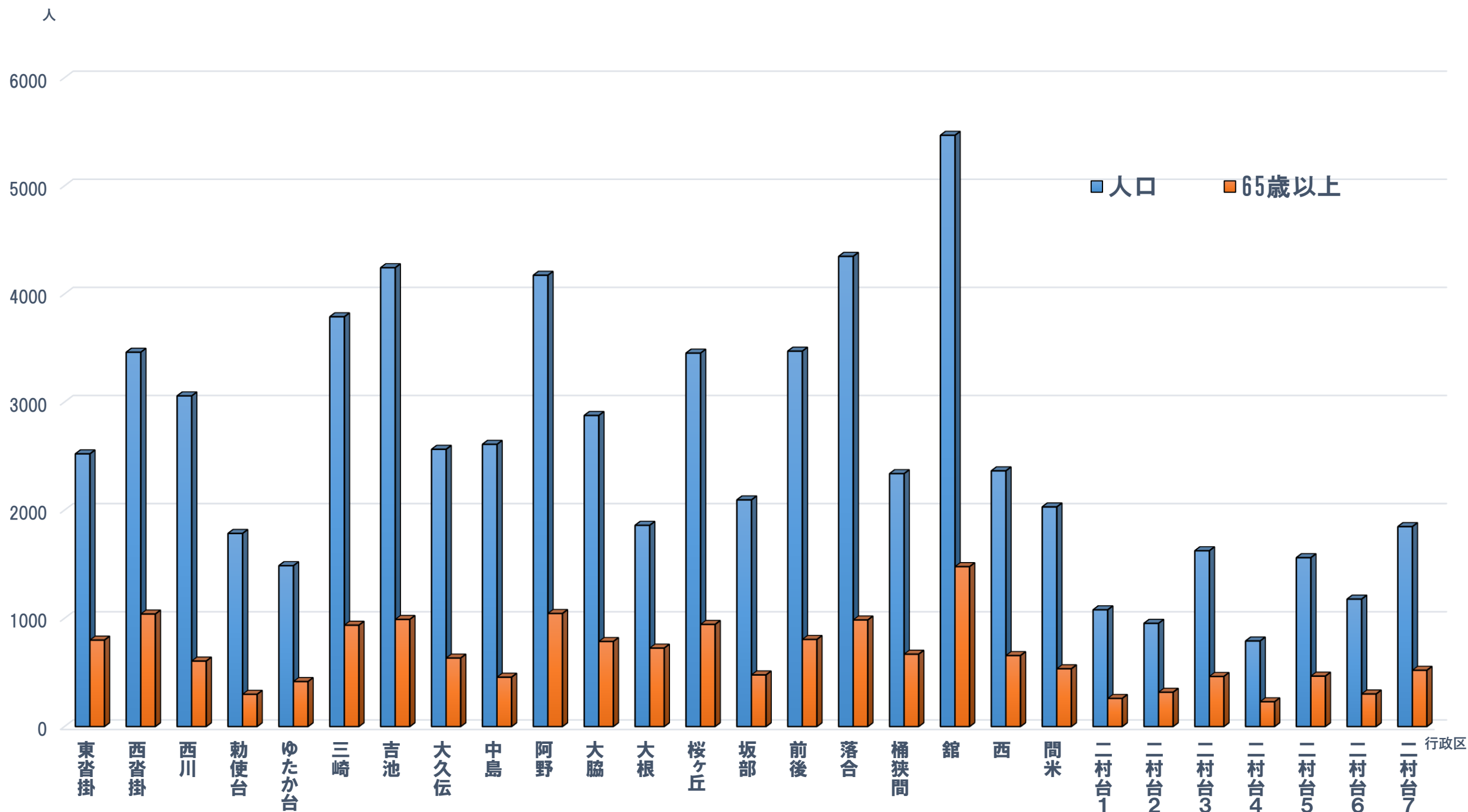
認知症地域支援推進員 有田 通幸

豊明市の概況

- 名古屋市のベッドタウン
- 総人口 69,103人
- 高齢化率 **25.8%** (2020.04末)
- 人口構成は前期高齢者層に人口の山があり、今後10年の後期高齢者の人口の伸びが著しい地域特性



豊明市 行政区別人口総数と高齢者人口



- 豊明市の高齢化率 25.8%(65歳以上人口17,834人/総人口69,103人)2020/04現在
- 独居率 9.4%(65歳以上の独居1,679人/65歳以上人口17,834人) 去年は10.4%
- 高齢世帯率 6.2%(65歳以上の高齢世帯1,874戸/全世帯30,235戸) 去年は 5.9%
- 高齢化率の高い地区①大根 ②二村台2 ③東沓掛 ④西沓掛 ⑤二村台

「豊明市おたがいさまセンター ちょっと」は

平成29年11月1日、豊明市民の生活のちょっとした「困りごと」をお互いに支えあう仕組みづくりとして市民と3協同組合による
住民主体型生活サポート事業の事務局
としてオープン。



「豊明市おたがいさまセンター ちやっ」ととは？

- 豊明市住民主体型生活サポート事業の委託を受け、運営。
- 事務局が「一人の困り事」を受け付け、生活サポーターに繋ぐコーディネーターの役割
- 生活サポーター養成講座開催（市役所・地区）
- サポーター報告会
- チラシ作成やニュース作成
- チケット販売やチケット代金、時間貯金の管理
- 1年の中でサポーター交流会やサポーター学習講座（調理実習・学びの講座）等も計画

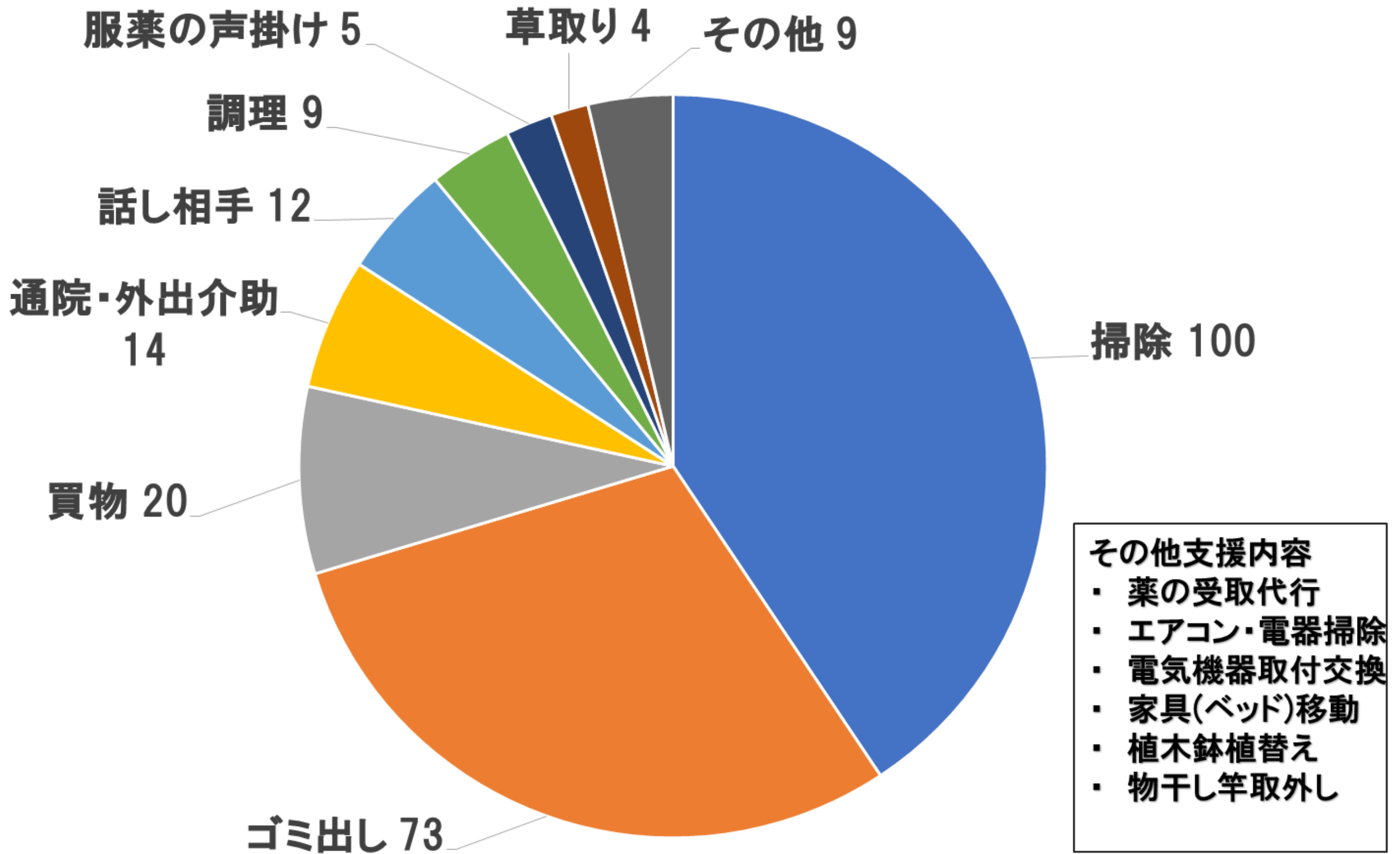
対応件数（相談はもっとある）

対応月	利用者延人数	生活サポーター延人数	サポート延べ時間
2017年11月	5人	5人	8.5時間
2017年12月	19人	28人	42.5時間
.....
2018年11月	196人	209人	242時間
2018年12月	180人	191人	213.5時間
.....
2019年 4月	227人	237人	249.5時間
.....
2019年11月	247人	263人	256時間
2019年12月	250人	263人	303時間
.....
2020年 6月	252人	275人	275時間

※スタートして**3年目**

利用者が大きく増加、依頼は**掃除、ゴミ出し、買物、通院・外出介助等**の生活の困り事。
2019年度は1年間に145名の生活サポーターが、175名の利用者へ支援に入った。

サポーター内容

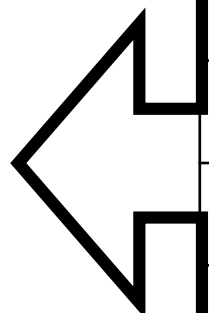


2020.03実績より

令和元年度 ちゃっと利用者の内訳

介護度	人数	%	%
自立	58	33	33
要支援1	20	12	35
要支援2	41	23	
要介護1	21	12	32
要介護2	25	14	
要介護3	3	2	
要介護4	5	3	
要介護5	2	1	
	175人	100%	100%

認知症自立度	人数	%
自立	34	29
I	39	33
IIa	10	8
IIb	29	25
IIIa	3	3
IIIb	1	1
IV	1	1
	117人	100%



利用者のうち、**介護認定者は**
全体の**67%**あり。

介護認定者のうち、認知症
自立度IIa以上は**38%**
あり。

調理



ゴミ捨て



掃除

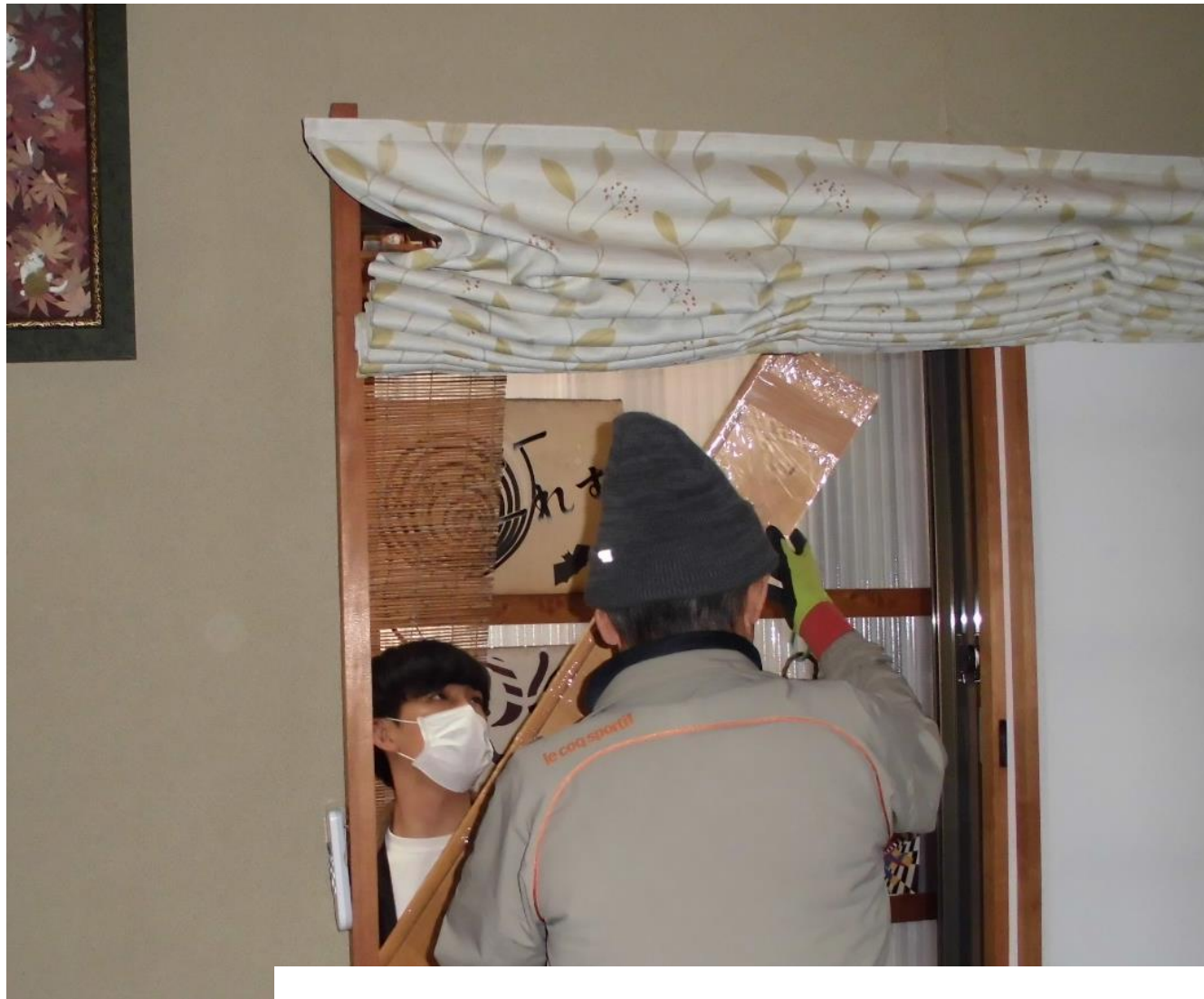


買い物



女性サポーターの活躍



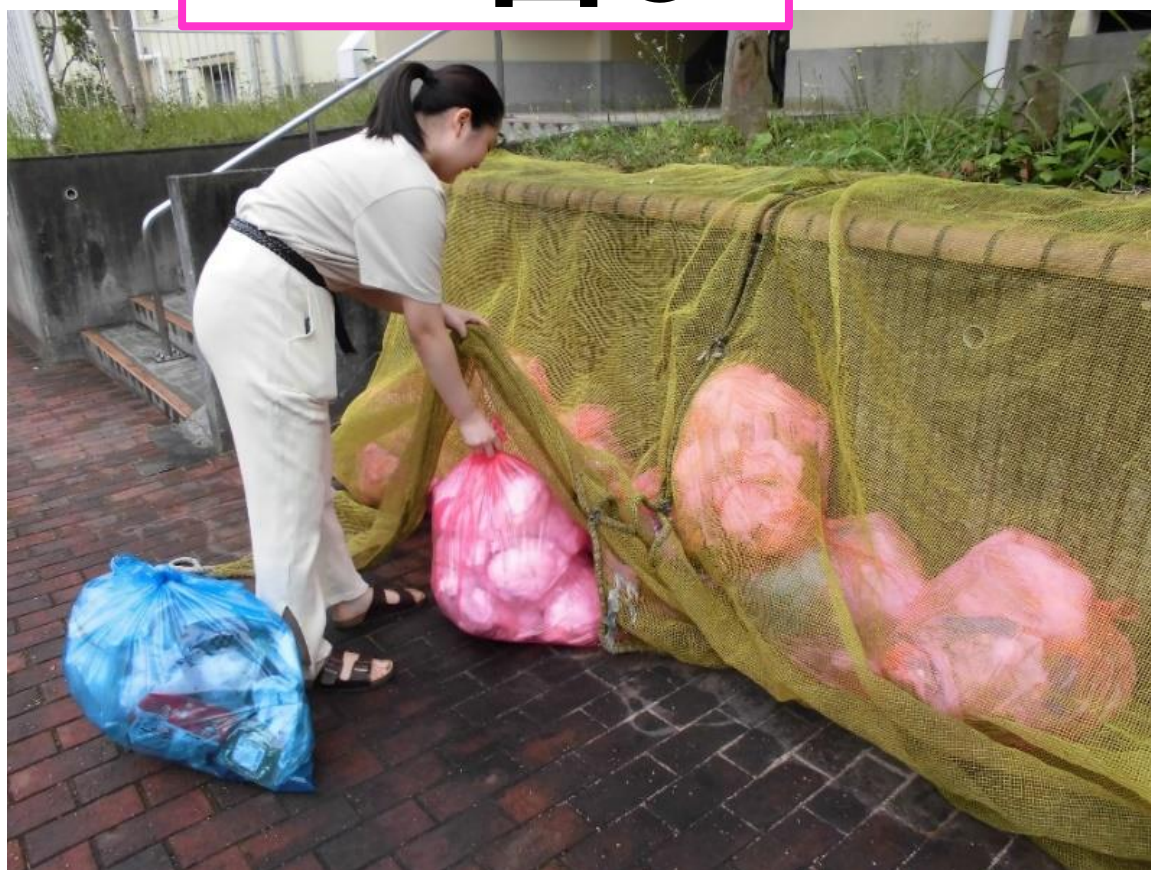


男性サポーターも大活躍

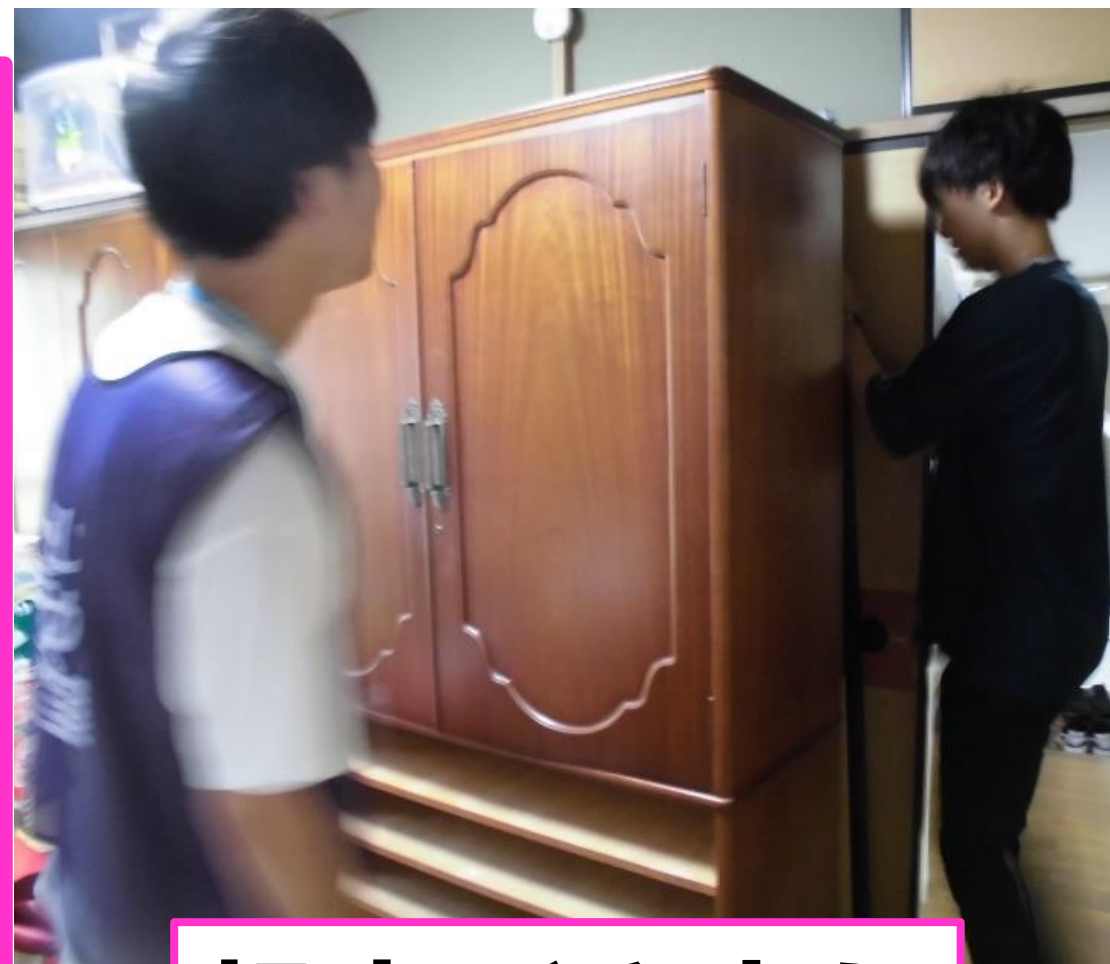




ゴミ出し



学生サポーターターも大活躍



粗大ごみ出し



フォローアップ講座。

～直近の講座では「傾聴」をテーマに開催～

- ・ サポーターの方々は利用者に対して「認知症」というバイアスを持たずに支援に入っている。
- ・ それでも認知症サポーター養成講座で伝えた内容を自然と実施できている。但し、サポーター1人1人は自分のやり方が合っているのかという不安を抱えながら支援に入っている。
- ・ 傾聴に対するエッセンスをお伝えすると同時に、普段サポーターの方々が自然に行っている事を肯定していく形で実施。

豊明市のチームオレンジが出来る迄の流れ

- **地域特性に合わせて支援団体の規模をフィットさせる。**
※新たな資源を創るのではなく繋げていく。
- **生活に困っている方の要素の一つに“認知症”がある。**
- **生活支援に入っている方々の中にも認知症の当事者はいる。**
- **サポーターに認知症の理解を深めてもらうために認知症サポーター養成講座の実施。**
- **サポーターからのニーズも拾い上げながらフォローアップ講座の実施。**

**ご清聴ありがとうございました。
ございました。**